

「二十一世紀に 活き活き生きる
経営基盤創り。」

ありがとう



● 8月合同例会で報告
● 10月の例会案内

2014.8
VOL.35

発行責任者／前田 政登 西岡 伸悟

8月合同例会で報告 「全国経営発表大会前哨戦 夢とビジョンの実現を目指して!!」 2014年8月7日(木) 発表者／升萬食品有限会社 代表取締役社長 堀 幸三郎氏 山重商事株式会社 専務取締役 山重 裕太氏

今回、経営方針を発表しようと思ったのは、今のままではじり貧となり、10年後には廃業となるかもしれないという危機感です。製麺業界は装置産業です。弊社はコストパフォーマンスでは負けず。ですから、お客様にとってブランド商品であると思ってもらえて、はじめて生き残れると思います。弊社がブランド企業になるためのアドバイスを頂きたく、挑戦いたしました。



実際に経営方針書を作るに当り、大変恵まれていると思いました。9回ものレクチャー会。素晴らしい(手厳しい?)アドバイス。それは、方針書に科学性と、客観性、そして何よりも、多角的視座を与えてくれました。一人で考えていると堂々巡りでなかなか深掘りが出来ないものですが、会の方々の色々な意見、アドバイス、叱責を聞いていると、少しずつですが深掘りが可能となりました。

弊社も社員さん達と考え、決め、一緒に実行していく会社になりたいと思っていました。しかし、我社の弱みは、朝礼・終礼・ミーティングがない。何でも社長が一人でやってしまう。弊社の事や麺業界の事を社員さんにはほとんど話しておりませんでした。業界の事、会社の情報を与えてなくて社員さんに考えてくれというのは無理な話だと思い、7月30日、社員さんに集まってもらって経営発表を開きました。

弊社の歴史、経営内容、問題点、麺業界の趨勢、そして弊社がどういう方向に進むかの話をしました。その方向に進む為に、毎月一回全体と部門ミーティングを開き、課題、目標を設定し、進捗管理とPDCAを回し始めてもらう様に致しました。方針書作りと自社への落とし込みが同時平行的に出来たのは、とてもラッキーであり、効果性が高いと思っています。

升萬食品有限会社 堀 幸三郎



今回の例会で経営計画書を発表させて頂きました、広島西経営研究会の山重裕太です。今回の発表前と発表後の感想を述べたいと思います。

まず経営発表をする前は、ホントに自分に経営計画書が書けるのかと不安な気持ちがありました。始めは強みと弱みの所から作り、そこからブラッシュアップしていき根拠の部分加わったりと何度も何度も見つめ直していきました。経営計画書を作る為に自社の分析をする上でまた新たな発見がありました。それは広島西経営研究会の方々の協力でレクチャー会を去年の12月から今までに9回開催して頂いたお陰で経営発表できたということが大きかったと感じます。

発表後の感想ですが、とにかくチャレンジできて良かったと思います。チャレンジしたことによって自社の明確な地図が出来て、それに沿って行けば道が開けてくるように感じました。また、経営計画書の奥の深さも知ることができて良い勉強になったと思います。

9月が本番にはなりますが、その前に発表をする機会を頂けたことは凄く自分の中で良い経験になり自信にも繋がりました。本当にありがとうございました。

山重商事株式会社 山重 裕太



10月の例会案内

《広島西経営研究会》

● 日 時／2014年10月29日(水) 19:00～(18:30より受付開始)

● 場 所／日本創造教育研究所 広島営業所

● 発表者／ヒロボシ株式会社 専務取締役 野村 佳氏
「企業が生き残る為のリーダーとしての決断」